

(任) 日本地質学会2009年度第2回定例評議員会議事録

2009年12月28日
日本地質学会評議員会
副議長 小山内康人

日時：2009年12月5日（土）13：00—14：30
会場：北とぴあ 902会議室（東京都北区王子）

出席者：（3名）会長 宮下純夫 副会長 高木秀雄 佃 栄吉
（評議員15名）永広昌之 大友幸子 沢田順弘 新妻信明 脇田浩二 岡 孝雄 小山内康人
紺谷吉弘 佐々木和彦 高橋正樹 滝田良基 松原典孝 丸山茂徳 吉川敏之 渡辺
真人
（理事12名）渡部芳夫 井龍康文 岩森 光 上砂正一 倉本真一 小嶋 智 坂口有人
斎藤 眞 久田健一郎 向山 栄 藤本光一郎 藤林紀枝
（事務局）橋辺菊恵

欠席者 評議員（委任状23名）：阿部国広 荒戸裕之 磯崎行雄 卜部厚志 川端清司 北里 洋
柴 正博 中川光弘 保柳康一 堀 利栄 三宅康幸 山路 敦 山根 誠 磯野 清
足立勝治 安藤寿男 伊藤谷生 狩野謙一 木村 学 公文富士夫 芝川明義 松岡
篤 村山雅史

欠席者 評議員（委任状なし1名）：松本俊幸
理事(5名) 石渡 明 矢島道子

オブザーバ（＝報告者） 関東支部幹事 山本高司

- * 出席者成立員数（20/39）に対し、出席30名、委任状26名で、評議員会は成立。
- * 書記の選出

○報告事項

1. 理事会報告

(1) 運営財政部会

- 1) 総務委員会（部会長 上砂）
* 理事会議事録参照

2) 会員委員会(担当理事 向山)

- ・前回からの入会者数 11名
正会員 10名（うち院割6）、準会員 1名
- ・前回からの退会者 正会員 1名
- ・逝去6名 名誉会員 2名 正会員 4名
名誉会員 羽鳥謙三（9/2）市川浩一郎（11/25）
正会員 山寄謙一（9/3）青木 清（9/30）飯嶋治男（10/12）堀越 叡（10/16）
- ・会員数

		賛助	名誉	正会員(内 院生割引)	準会員	合計
2009年	11月30日	30	73	4,226 (217)	32	4,361
2009年	8月31日	30	75	4,221 (211)	31	4,357
前回比		0	-2	+5	+1	+4

- ・会員名簿の発行（任意団体と法人の兼用発行）12月中に配布予定
- ・長期滞納による2009年度末の除籍予定者（131名）
- ・会員数は毎年100名程度確実に減っており、下げ止まり傾向にはない。

3) 会計委員会（佐々木和彦委員長・担当理事 向山）

- ・10月までの収支報告

年会開催費はほぼ決定。3月までは派遣で人員を調達。

- ・10/16, 11/9 会計委員会を開催
法人移行に際しての支部の財産、来年度からの支部会計処理、引当金の整理、法人の会計科目、年会の委託業務・参加登録システムの導入等について検討した。また、会計処理規則法人版の整備をした。
- ・参加登録システムについては発注済み、年会の委託業務は複数業者の見積もりを検討中。

4) その他

- ・地球惑星科学連合（委員 久田）
11月11日第1回学協会会長会議が開催され会長が出席した。
 - ・連合及び学協会名で地方分権改革推進委員会第3次勧告、博物館法改正への意見表明をした。
 - ・行政刷新会議の事業仕分け（次世代スパコン, spring8, 深海ドリリング, 地球内部ダイナミクス）に対し、連合及び学協会名で意見書を提出した。

5) 広報委員会(情報特任担当理事 倉本, 委員長 坂口理事)

- ・フォトコンテスト2009のポスターを作成し、関係方面に配布した。
- ・IYPE日本と共催の第1回惑星地球フォトコンテスト2009は11/30で締切られ、応募総数は437点であった。
- ・フォトコンテスト2009の審査委員長を白尾元理会員に依頼した。12月中に一次審査を行い、1月に二次審査を行って受賞を確定する予定。
- ・地質学会のHPはリニューアル後2年と2ヶ月半、11月20日に訪問者数100万人（563万ページビュー）を達成。

(2) 学術研究部会

1) 行事委員会（委員長 斎藤理事）

- ・岡山大会について
参加者数は、約850名、市民講演会の来場者は約140名、地質情報展の入場者は2000名と各々盛況であった。岡山理科大学（加計学園）には会場の提供および補助金その他で多大なご援助をいただいた。今回初めて大会運営を業者委託した。今後その効果について検証していく。
- ・2011年富山大会は準備を開始した。大学へは共催申請を出しているが、共催ではなく後援が妥当となる可能性もある。
- ・2011年の年会は関東支部の回り持ちで、会場は茨城大学に決定したことが関東支部（幹事山本氏）から報告された。
開催日：第一候補日9/2（金）-9/4（日）、第二候補日9/9（金）-9/11（日）。
開催候補日について、小中高教員が出席するには適当ではないと、再検討が要請された。
- ・見学旅行実施手続きおよび見学旅行案内書の刊行・作成について検討しまとめた。
見学旅行実施に関する手続きは、文脈が読み取りにくいので、再構成が要請された。
見学旅行案内書については、別刷の印刷希望が多く寄せられ、地質学雑誌に準じ、著者に50部の別刷を配布することとした。

2) 国際交流委員会（特任担当理事 石渡）

- ・モンゴル地質学会と学術交流協定を締結
10月に宮下会長と石渡理事が出席して調印、モンゴル地質学会に記念の楯を贈呈した。地質学会には馬頭琴が贈られた。会長自ら赴くことの意義は大きいものであった。
- ・日韓地質学会交流協定の一貫として、10月29日-30日、済州島での韓国地質学会年會に宮下会長が招待された。
- ・交流先の学会員参加に向けた年會等の国際化の必要性（具体的には、年會でのアジアセッション開催や、世界ジオパーク見学旅行の企画等）。

3) 専門部会連絡委員会(担当理事 藤本)

4) 研究委員会

- ・南極地質研究委員会（委員長 廣井美邦）

- ・地質環境長期安定性研究委員会（委員長 吉田英一）
地層処分に関するリーフレット「日本列島と地質環境の長期安定」の原稿を作成した。

(3) 編集出版部会

- 1) 地質学雑誌編集委員会（委員長 久田理事 副委員長-小嶋, 岩森=企画担当）
地質学雑誌編集委員会（委員長 久田 副委員長-小嶋, 岩森=企画担当）
115-11月号：論説3 短報1 ノート1（60ページ・11/30発送）
115-12月号：特集号「陥没カルデラ（I）：構造とマグマ」論説5 口絵1（63ページ・校正中）
116-1月号：論説4 報告1 短報1 口絵1（入稿準備中）
今月の編集状況（11月30日現在）
2009年度投稿論文 総数69編〔論説37（和文37），総説11（和文11）短報17（和文16 英文1），
ノート3（和文3）報告1（和文1）〕口絵8（英文4・和文4）
投稿数昨年比 -46 査読中編 61
受理済み18編（うち通常号8 特集号10）
- 2) アイランドアーク編集委員会（編集長 井龍理事，編集事務局長 竹内圭史）
・10月31日現在のIsland Arcの編集状況
現在のインパクトファクタは1.07であり，さらなる向上を目指す。
- 3) 企画出版委員会（担当理事 藤林）
 - ・リーフレットの企画・作成等に関する規則類をHPに掲載した。
 - ・その他リーフレットの企画：城ヶ島（三浦半島），大根島（島根県）など国立公園以外のたんけんマップの企画が出てきている。
 - ・フィールドジオロジー6巻「構造地質」が12月23日に刊行。
 - ・地学読本校正中

(4) 普及教育事業部会

- 1) 地質基準委員会（委員長 新妻）
 - ・現在の活動状況が報告された。
- 2) 地層名委員会（委員長 天野）
9月6日に拡大委員会を開催し，第四紀問題に関して以下のことをおこなった。
 - ・学術会議IUGS分科会（斎藤靖二委員長）に対し，1月22日開催の第四紀問題に関するシンポジウムの共催申し入れと講演者の推薦をおこなった。
 - ・同分科会の検討WGに対し地層名委員会としてメンバーの推薦をした。
 - ・会員等に対し，News誌，Web，geo-flash等に第四紀問題に関する概説を掲載した。
 - ・5月の連合大会に「第四紀」でシンポジウムを申し込んでいる。

(5) その他理事会関係委員会等報告

- 1) 法務委員会（委員長 上砂理事）
 - ・法人の利益相反，個人情報，除名の3規則案と倫理綱領について検討した。
- 2) 支部長連絡会議（担当理事 高木副会長）
 - ・9月6日に支部長会議を開催し法人の支部会計，支部規則について意見交換した。
- 3) 地質災害委員会（担当理事・委員長 藤本）
- 4) ジオパーク支援委員会（委員長 天野，担当理事 高木）
 - ・ジオパークを宣伝するためのポスターを作成し関係機関へ配布した。
 - ・来年の5月の連合大会に他学会と共同でジオパークのシンポジウムを申し込んだ。
- 【日本ジオパーク委員会（委員 高木副会長）】
 - ・2009年度の加盟申請については以下のように決定した。
GGN加盟申請地域：山陰海岸ジオパーク
JGN認定地域：恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク・隠岐ジオパーク・阿蘇ジオパーク・天草御所浦ジオパーク
- 5) 法人化作業委員会（担当理事・委員長 渡部常務理事）

2. 評議員会関係委員会等報告

1)男女共同参画委員会(委員長 堀)

- ・10月7日学協会男女共同参画シンポジウム(東京工業大学)において、地球惑星連合関係学会として、これまでの本委員会活動をポスターにて紹介した。
- ・地質学学会HPに男女共同参画委員会の紹介ページを作成中。
- ・来年度の委員会関係事業として、1)学会保育室利用促進のための利用者補助、2)Geo-Kids応援プログラムの企画を検討中。皆様のご理解、ご協力をお願いしたい。

3. その他

1)IYPE日本委員会(佃副会長)

- ・ファイナルイベント 3月27日-28日(富士ソフトアキバプラザ)
「惑星地球フォーラム2010 in アキバ-君たちと考える環境・防災・資源」
記念式典 28日 第1部 セレモニー、第2部 記念講演およびパネル討論、アキバ宣言
テーマ展示 3月27日-28日 青少年対象、フォトコンテストの表彰式

2)国際地学オリンピック日本委員会(委員長 久田)

- ・国際地学オリンピック(9/14 台湾)では派遣学生4名全員が銀メダルを獲得。
- ・2010年第4回の開催国はインドネシア、2011年第5回はイタリア、2012年第6回は日本開催(8月26-9月2日予定)が決定。

3)地質の日委員会(委員 藤林理事)

2009年10月20日に第3回「地質の日」事業推進委員会が開催され、新体制が承認された。また、第2回「地質の日」関連イベントの最終的な集計数として、全国60の機関及び団体で98のイベントが開催され、参加者数合計が260,433人であったことが報告された。

4)学術会議関連

宮下会長より、地球科学関係で10件の大型プロジェクトが提案され、学術会議で検討。

4. 理事会審議事項報告(おもなものを、詳細は(任)理事会議事録参照)

1)任意団体の解散について

- ・解散と資産の引き継ぎは、5月の総会で決議。
- ・新年度から活動はすべて法人に移行し、任意団体の新年度会計はゼロとする。会計処理などもあるので、5月総会までは解散に備えるだけの期間とする。

2)地方分権改革推進委員会第3次勧告、博物館法改正にたいする独自の意見表明について
連合として連名で出すことになったので、学会独自では行わない。

3)地球惑星連合の定款変更に同意書を提出

○評議事項

1. 任意団体の解散について

2010年5月の総会で任意団体を解散し、任意団体の全財産および活動を法人に移行する。法人総会で一般社団法人の活動が実質的に開始するというスケジュールが説明され、承認された。

以上